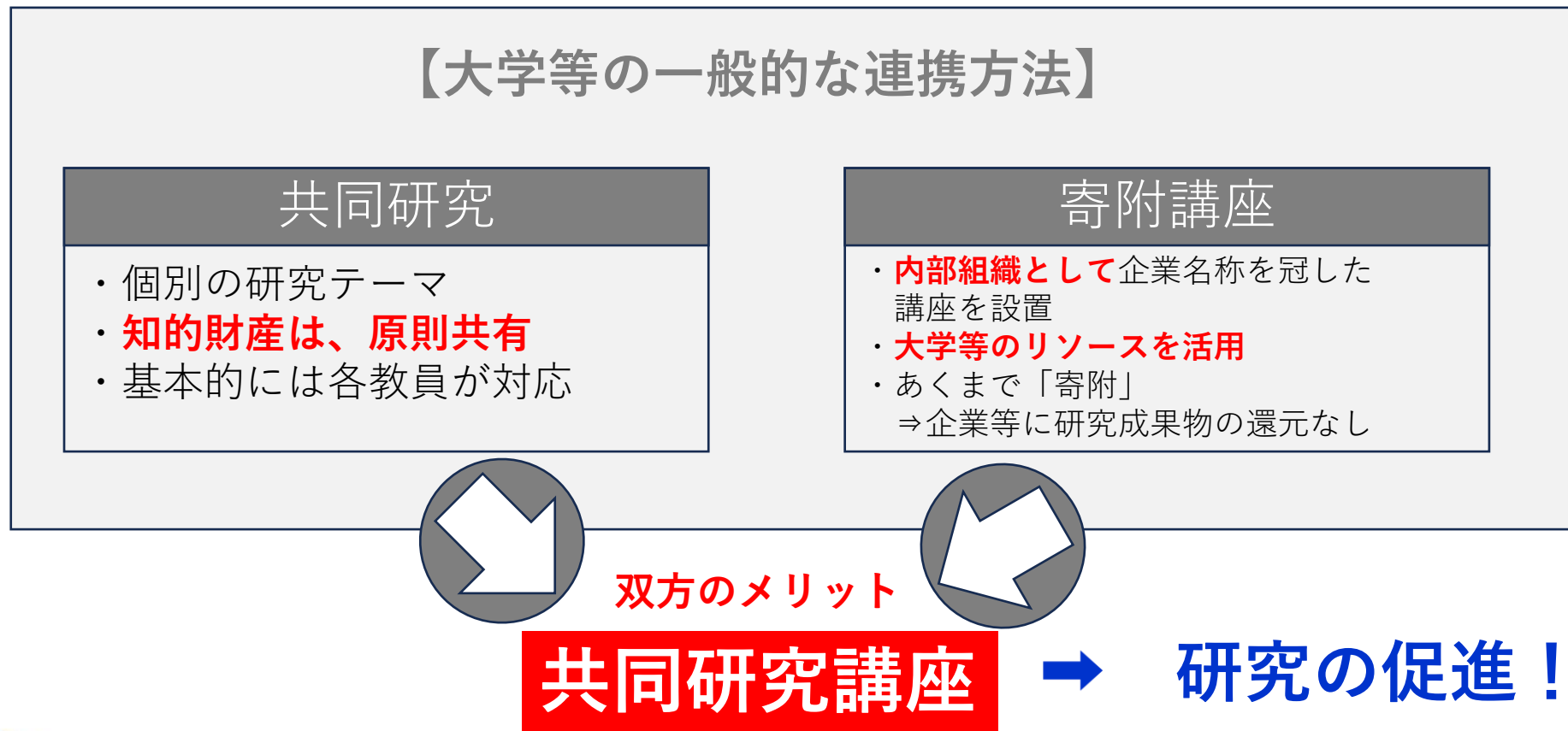


『共同研究講座』について

「共同研究講座」とは

企業等から受入れた資金を活用して**KEK内に研究組織を設置**、KEKと企業等の共通の研究課題について、**対等な立場で共同して研究**を行うために設置する組織

出口を見据えた優れた研究成果を生み出すことで、KEKとして研究活動の更なる充実と産業界への一層の貢献を目指す



『共同研究』と『共同研究講座』の比較

種別	共同研究	共同研究講座
経費	共同研究費	共同講座運営費
専任研究者	×	○
企業のアピール	×	○ 冠名を命名可能
KEKリソースの利用	△ 契約書で明記した装置のみ	○ フル活用可能
成果の帰属	○	○

『共同研究講座』の概要

〇〇共同研究講座



講座研究者



ポスドク、院生



講座研究者

客員教授、クロアポ等



共同研究員

企業名を付す
ことも可能

研究成果

企業の開発戦略に
あった確実な研究
成果の還元



KEK

契約

講座設置、出向、クロアポ等

講座運営経費

人件費、謝金、旅費、設備費、消耗品費等

Insight through Accelerators.



企業等

『共同研究講座』の K E K 側のメリット

①共同研究費の大型化

K E K 内に企業等との研究組織を設置することで**共同研究費の大型化**が可能に

②安定した研究基盤構築

企業等の研究者がKEKに常駐等することで、実用化を見据えた研究課題に中長期的に取り組可能となり、**安定した研究基盤**が構築。新たな研究展開へも期待

③社会貢献の促進

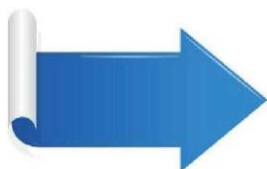
企業のニーズに応えた共同研究講座の成果を企業等がサービス・製品化することで、**社会へ研究成果を還元**

④研究分野の拡大

企業等の研究者とK E K 研究者との日常的な連携が増進されることにより、**研究課題に対する研究分野の拡大、研究所等の横断的な連携**が期待

⑤学生の教育効果向上

企業等名の冠を付けた講座をKEK内に設置することで、**学生等の実質的なインターンシップ**による教育効果が期待



K E K 側にも大きなメリット

Insight through Accelerators.



『共同研究講座』の **企業側** のメリット

①共同研究が加速

講座研究者配置による**研究のスピードアップ**、**効率的な展開**に加え、企業等の中長期的な研究開発戦略に合致した**確実な研究**が期待

②知的財産の共有

原則、知的財産の持ち分を定めた共同出願契約を別途締結した上で、企業側等のメリットも十分配慮し**特許等の共同出願**を実施

③組織的サポート

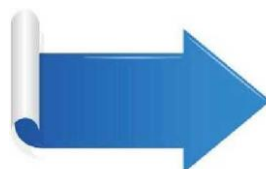
講座はKEKの組織となり、**KEK内リソース（保有設備等）のフル活用**が可能。研究者間の「横のつながり」も期待

④研究者としての研究活動

KEKの様々な知見や研究シーズへのアクセスが容易となり、**新たな研究展開**が期待

⑤学生等へのPR効果

講座にポスドクや学生を置くことも可能であり、学生等への企業PR効果も期待でき、**優秀な学生等の採用**も期待



企業側にも大きなメリット

『共同研究講座』の流れ

